

沖縄県内で相次ぐ米兵による事件事故等に対する意見書

このことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので提出する。

令和7年（2025年）6月6日提出

提出者
議会運営委員会
委員長 屋良 栄作

（提案理由）

5月25日午前10時30分ごろ、本市の国道58号安謝高架橋で在沖米海兵隊員が運転する普通乗用車とミニバンが衝突して横転するなど計4台が絡む多重事故が起きた。

県内ではこの事故に加え、住居侵入、公然わいせつ、飲酒運転などの疑いで米兵が逮捕される事件事故等が相次いでいて、市民と県民に大きな不安を与えている。

本市議会は、先月も在沖米軍に関する事件事故に対する「抗議決議・意見書」を全会一致で採択して、厳重に抗議し実効ある抜本的な再発防止策等を講ずるよう日米両国の関係機関に強く求めたばかりである。

それにもかかわらず、米兵が絡む事件事故が相次いで発生したことは、県民の安全・安心な生活を脅かすものであり、激しい怒りと憤りを禁じ得ない。事件事故等を防止できなかった米軍と日米両国政府の責任は重大であり、実効ある再発防止策が急いで求められている。

よって、本市議会は、市民と県民の生命、財産を守る立場から、県内での米兵による相次ぐ事件事故に関して、満身の怒りをこめて厳重に抗議するとともに、関係機関に対して、必要な事項の徹底、実現を強く要求するため、この案を提出する。

沖縄県内で相次ぐ米兵による事件事故等に対する意見書

5月25日午前10時30分ごろ、本市の国道58号安謝高架橋で在沖米海兵隊員が運転する普通乗用車とミニバンが衝突して横転するなど計4台が絡む多重事故が起きた。横転したミニバンに乗っていた4人がけがを負うなどして病院に搬送された。那覇署は、米海兵隊員は事故後、現場を立ち去ったとして、自動車運転処罰法違反（過失運転致傷）と道路交通法違反（救護義務違反）の疑いで緊急逮捕した。同容疑者からは、基準値の約2倍のアルコールが検出されている。那覇署は5月27日、同容疑者を那覇地検に送致した。

県内ではこの事故に加え、住居侵入、公然わいせつ、飲酒運転などの疑いで米兵が逮捕される事件事故等が相次いでいて、市民と県民に大きな不安を与えている。

本市議会は、先月5月22日に「在沖米海兵隊員による凶悪的蛮行・性的暴行事件等に関する抗議決議・意見書」「米軍普天間飛行場所属UH-1ヘリコプターの落下物事故に関する抗議決議・意見書」を全会一致で採択して、厳重に抗議し実効ある抜本的な再発防止策等を講ずるよう日米両国の関係機関に強く求めたばかりである。

それにもかかわらず、米兵が絡む事件事故が相次いで発生したことは、県民の安全・安心な生活を脅かすものであり、激しい怒りと憤りを禁じ得ない。事件事故等を防止できなかった米軍と日米両国政府の責任は重大であり、実効ある再発防止策が急いで求められている。

沖縄は戦後80年を経た今日もなお、全国の米軍専用施設面積の約7割が集中し、県民は基地から派生する事件・事故・爆音・環境汚染等により、筆舌に尽くしがたい犠牲と過重な負担が強いられている。今回の事件は、米軍や日米両国政府が綱紀粛正を強調し再発防止策なるものを講じて、それが機能せず、同様の事件・事故が繰り返される沖縄の現実を明確に示すものとなっている。

よって、本市議会は、市民と県民の生命、財産を守る立場から、県内での米兵による相次ぐ事件事故に関して、満身の怒りをこめて厳重に抗議するとともに、関係機関に対して、下記事項の徹底、実現を強く要求する。

記

- 1 被害者への謝罪及び完全な補償並びに丁寧な精神的ケアを行うこと。
- 2 市民と県民が安全・安心して生活できる、実効性のある抜本的な再発防止策を講ずること。
- 3 米軍構成員等を特権的に扱う日米地位協定については、主権国家としての立場を踏まえ、抜本的な改定を行うこと。特に、刑事事件に関する身柄引渡条項については、公務外の事件において日本側が容疑者の身柄を速やかに確保できるよう、早急に改定すること。
- 4 米軍基地の加重負担解消に向け、在沖米軍基地の整理・縮小を積極的に推進すること。
- 5 日米両政府が取り組む新たなフォーラムにおいては、早急に正確な実態把握を行い、事件事故等の再発防止へ実効性のある具体的な対策の確立を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）6月6日

那覇市議会

あて先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、
沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長